

# Panasonic

## 取扱説明書

### DC12V 車専用 車載用 ワイド液晶カラーテレビ



品番 TR-T70W3 (7V型)

品番 TR-T90W3 (9V型)



#### 保証書別添付




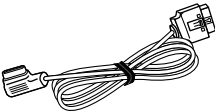
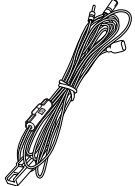

このたびは、パナソニック車載用7V型、9V型ワイド液晶カラーテレビをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 取扱説明書および保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に安全上のご注意は、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- この取扱説明書は、TR-T70W3 (7V型)とTR-T90W3 (9V型)と共用です。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

TQBA0390-1

# 商品構成一覧表 (取り付け前にご確認ください。)

本機には、次のものが同梱されてます。設置、接続の前にご確認ください。  
万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐに販売店までご連絡ください。

|  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ディスプレイユニット 1台   | <input type="checkbox"/> チューナーユニット 1台  |
|   |   |
| <input type="checkbox"/> ワイヤレスリモコン (リチウム電池付属) 1コ                                   | <input type="checkbox"/> ディスプレイユニット～チューナー接続ケーブル 1本 (長さ: 2.5 m)                     |
|   |   |
| <input type="checkbox"/> 電源コード (圧着式コネクタ 1コ付) 1本                                    |  |
|  |  |

## アナログ放送からデジタル放送への移行について

### デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始されその他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

# 特長

- **7V型ワイド/9V型ワイド液晶パネル搭載**  
高画素数・高精細な液晶パネルの採用で、高画質・迫力あるワイド画面を実現しました。
- **多彩な画面モード切り換え機能内蔵**  
ノーマル/フル/ズーム/ジャストの画面モード切り換え機能を内蔵。お好みのモードにて映像を見ることができます。
- **2系統のビデオ入力端子付**  
カーナビゲーションやDVDのビデオ入力2系統を有し多彩な映像を視聴することができます。
- **小型・高性能4 cmスピーカーとステレオヘッドホン端子 (9V型のみ) 付**  
ディスプレイユニットの背面に内蔵されたスピーカーで、テレビ・ビデオ・カーナビゲーションなどの音声を出力できます。
- **オートディマー (自動調光機能) 内蔵**  
周囲の明るさに応じて画面を見やすい明るさに自動調整 (12階調) できます。
- **FMトランスミッター内蔵**  
FMワイヤレス発信回路を内蔵していますので、テレビやビデオの音声を電波で飛ばして、カーステレオなどで受信して聴くことができます。
- **拡張AV出力端子付**  
画面操作に影響されずに拡張AV出力端子に接続された2台目のモニターの映像や音声を切り換えることができます。
- **カメラスケール表示機能内蔵**  
バック映像と同時に車幅や車間距離などの目安になるカメラスケールを任意に設定・表示できます。
- **地上デジタルTV受信機接続端子付**  
地上デジタルTV受信ユニット (別売) を接続することにより高画質テレビ映像・音声を視聴できます。
- **画面オフ機能内蔵**  
本機の画面をオフにしたままで拡張AV出力端子に接続された2台目のモニターで映像・音声が楽しめます。

### お知らせ

- ・ テレビのV型 (7V型、9V型等) は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- ・ 本機の信号方式はNTSCです。他の方式は使用できません。

■ その他本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

■ 本書内の写真/イラストについて

本書内の製品姿図・イラストは、実物と多少異なりますが、ご了承ください。

# もくじ

## ご使用前に

|               |    |
|---------------|----|
| 商品構成一覧表       | 2  |
| 特長            | 3  |
| 安全上のご注意       | 6  |
| 快適にお使いいただくために | 10 |
| 各部のなまえとはたらき   | 11 |
| ディスプレイユニット    | 11 |
| リモコン          | 12 |
| チューナーユニット     | 14 |
| メニュー画面        | 15 |

## 使いかた

|                     |    |
|---------------------|----|
| テレビ放送を見る            | 17 |
| 選局のしかた              | 19 |
| オートメモリ選局            | 19 |
| ダイレクト (1~12) 選局     | 20 |
| 音声について              | 21 |
| 内蔵スピーカーの音量を調整する     | 21 |
| テレビの音声をカーオーディオで聞くには | 22 |
| 「FMトランスミッター」の周波数変更  | 23 |

## 使いこなす

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 便利な機能                 | 24 |
| 映像の横縦比 (アスペクト) を切り換える | 24 |
| 音声を切り換える              | 25 |
| 拡張AV出力機能              | 26 |
| 画面オフ                  | 27 |
| 設定を変える                | 28 |
| 基本メニューの設定             | 28 |
| 基本メニュー                | 28 |
| スピーカー音量の調整            | 29 |
| システムメニューの操作と設定        | 30 |
| スピーカー                 | 30 |
| ディマー                  | 30 |

|                       |    |
|-----------------------|----|
| ビデオモード                | 31 |
| オートメモリ                | 31 |
| カメラスケール               | 32 |
| 映像音声調整                | 33 |
| 各機器との接続               | 34 |
| 車載用DVDプレーヤーを接続する      | 34 |
| DVDプレーヤーの連動           | 35 |
| カーナビゲーションを接続する        | 36 |
| カーナビゲーションの映像信号を接続する場合 | 37 |
| 映像機器を接続する             | 38 |
| 2台目のテレビやモニターを接続する     | 39 |
| 車載用カメラを接続する           | 40 |
| 地上デジタルTV受信ユニットを接続する   | 41 |

## 設置のしかた

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 設置のしかた                  | 42 |
| 設置・接続のしかた               | 43 |
| 車載用カラーカメラと接続する場合        | 45 |
| カメラ強制入力カリード (緑) の接続     | 46 |
| 運転者からテレビが見える位置に取り付ける場合  | 46 |
| 運転者からテレビが見えない位置に取り付ける場合 | 47 |
| 圧着式コネクタの接続              | 47 |

## 必要なとき



|             |    |
|-------------|----|
| 故障かな!?      | 48 |
| お手入れについて    | 50 |
| 保証とアフターサービス | 51 |
| 修理ご相談窓口     | 52 |
| 仕様          | 54 |
| 別売品の紹介      | 55 |

# 安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

|   |  |
|---|--|
|  <b>警告</b> | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。           |
|  <b>注意</b> | この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は絵表示の一例です。)

|   |                                  |
|---|----------------------------------|
|  | このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 |
|  | このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。       |
|  | このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。    |

## 警告

取り付けは専門技術者にご依頼ください



取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

● 安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

運転者や視界の妨げになる位置へは取り付けしないでください



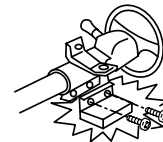
前方視界やエアバッグなどの安全装置の妨げになる位置や、シフトレバーやブレーキ付近など運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因となります。

## 警告

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください

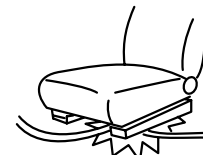


禁止



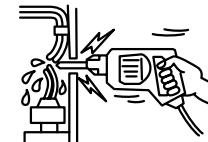
ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

正しく配線を行ってください



誤った配線をするとう発火や事故の原因となります。特にリード線がねじやシートレールの可動部分にかみ込まないよう整形し、固定してください。

ダッシュボードに穴をあけるときは裏側に何もなことを確認してください



裏側を確認しないで穴をあけると、車両のワイヤーハーネスとショートして発火や故障の原因となります。

DC12Vマイナスアース車で使用してください



DC12Vマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車（DC24V車）には使用できません。火災や故障の原因となります。

分解や改造はしないでください



分解禁止



内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

● 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

運転者は走行中に操作をしたり、画像を見たりしないでください



禁止



● 走行中に操作をすると、不注意となり事故の原因となります。操作は安全な場所に停車して行ってください。  
● 表示された画像を注視しないでください。

## 警告

故障や異常のまま使用しないでください



禁止



煙りが出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

- 直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

雷が鳴り出したらアンテナ線やテレビには触れないでください



接触禁止

感電の原因となります。

電池を廃棄や保存するときはテープなどを巻きつけて絶縁してください



テープなどを巻かないで廃棄や保存すると、発熱・破裂・発火の原因となります。

電池は正しく取り扱ってください



- 乳幼児の手の届く所に置かないでください
- 加熱、分解したり、水、火の中へ入れないでください
- $\oplus$ と $\ominus$ は正しく入れてください
- ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください
- 金属製のピンセットなどでつかまないでください
- 長期間使用しないときは、取り出してください

- 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 取り扱いを誤ると火災・破裂・発火の原因となります。

異物を入れないでください



禁止

機器内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。

ぬらしたりしないでください



水ぬれ禁止

火災や感電の原因となります

## 注意

ディスプレイユニットをエアバッグ装置の上や付近には設置しないでください



禁止

決められたヒューズを使用してください



規定容量のヒューズを



必ず規定のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

走行中は適正な音量で使用してください



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は事故の原因となることがあります。

水がかかる所やほこりの多い所に取付けないでください



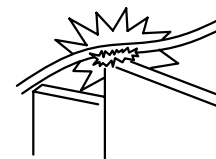
禁止

火災や感電の原因となることがあります。

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけないでください



禁止



ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

落下させたり強い衝撃を加えないでください



禁止

故障や火災の原因となることがあります。

# 快適にお使いいただくために

## 液晶パネルについて

- 液晶パネル面を上にしてダッシュボードの上に放置しないでください。  
(保存温度範囲：-20℃～+80℃)  
高温または低温になると液晶パネルが化学変化を起こし、故障の原因となります。
- 液晶パネル面は特殊加工されていますので、画面に触れた場合は指紋がつき目立ちます。できるだけ画面をさわらないようにしてください。  
また、画面を押したりしないでください。
- 低温になりますと、映像が暗くなったり、出るのが遅くなったりすることがあります。また、映像の動きに違和感が出たり画質が劣化したりすることがありますが故障ではありません。(使用温度範囲：-10℃～+50℃)

## チューナーユニットについて

次のところには、取り付けしないでください。  
水のかかるところ、足でふまれるところ、およびヒーターのダクトなど温風の近く、カーペットの下などの熱がこもるところ。

## 映像について

- 本機は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。  
テレビ番組などのソフトの映像の比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- 営利目的、また公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ワイドでない通常の映像(4:3)をフル・ズーム・ジャストなどで画面いっぱい拡大すると、周辺の画像が一部見えなくなったり変形したりします。  
制作者の意図を尊重したオリジナル映像は、ノーマルでご覧ください。

# 各部のなまえとはたらき

## ディスプレイユニット

### ●前 面

チャンネルの選局や基本メニューを調整する (17～20ページ)

画面アスペクトが表示される (24ページ)

映像を表示する  
(液晶パネル面を押したり、たたいたしないでください)

入力モードが表示される  
テレビ、ビデオ、DVD、カメラなどの入力を選ぶ  
1秒以上押して拡張AV出力を切り替える (26ページ)

リモコン受光部  
周囲の明るさを検知

電源  
キーを押して電源の「入」「切」をする  
電源「入」状態で1秒以上押しすと「画面オフ」となる (27ページ)

各種調整や設定する (28ページ)  
拡張AV出力モードが表示される (26ページ)

電源状態をランプ表示する  
(「入」緑、「切」赤、「画面オフ」で橙。)

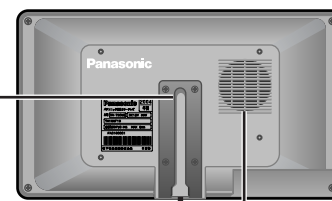
### ●背 面

スタンド金具  
※別売の液晶モニター取り付け金具 TY-CKM90A 他工事説明書をご覧ください。

### ●側 面

ヘッドホンを接続する  
(TR-T90W3のみ)

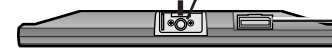
### ●底 面



音声を出す

ディスプレイユニット部を固定する

固定用ネジ穴  
(1/4インチ ユニファイねじ、最長4.5 mm)



前面

チューナーユニット部と接続する

# 各部のなまえとはたらき つづき

## リモコン

スピーカー、ヘッドホン (TR-T90W3のみ) の音を消す (もう一度押すと元のレベルにもどる)

メニューの選択やチャンネルを選ぶ (18~20、30~33ページ)

スピーカー、ヘッドホン (TR-T90W3のみ) の音量を調整する (21ページ)

表示画面のアスペクトを変える (24ページ)

本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する (17ページ)

メニューの選択やチャンネルのオートメモリを行う (18~20ページ)

テレビ、ビデオ、DVDやカメラ映像を選ぶ

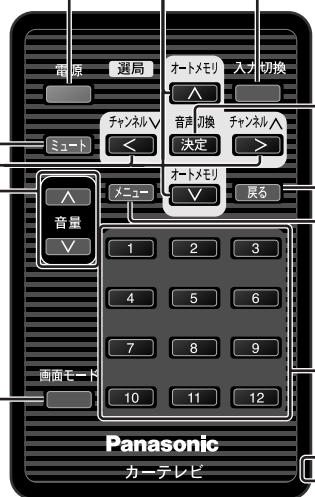
画面上でメニューの決定をする (25~33ページ)

一つ前の画面に戻る (30~33ページ)

メニュー画面を表示する (15、16、21~27ページ)

放送のチャンネルを選ぶ (20ページ)

ストラップホルダー



### 操作範囲

リモコンは、リモコン受光部に平行に向けて正面から約 3 m 以内で操作してください。

### お願い

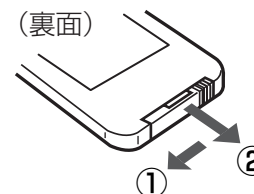
- リモコン受光部に直射日光や強い照明があたると、リモコンの動作が鈍くなります。ディスプレイユニットの向きを変えてください。リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。リモコンとリモコン受光部の間に物をおかないでください。
- 他の機器のリモコンと同時に使わないでください。
- リモコンの発光部は指向性が強いので、傾けると動作しにくくなります。リモコン受光部に対して平行に向けてください。
- 本機と当社製テレビを同時に使用するとき、リモコンで本機を操作すると、同時に当社製テレビが動作する場合があります。そのときは、テレビ本体での操作をおすすめします。

### ●リモコンの準備 (電池の交換方法)

リモコンの電池を付属しています。下の図を参考に電池を入れてください。

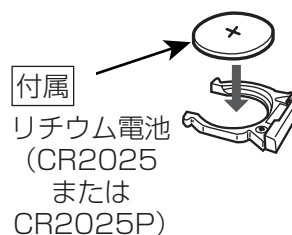
#### 1 電池ケースを引き出す

電池ケースのツメを矢印①の方向へ押しながら矢印②の方向へ引き抜きます。



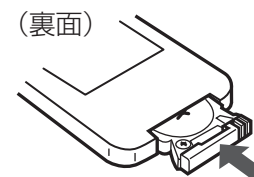
#### 2 電池を入れる

プラス側 (+) を上にして入れます。(プラス+とマイナス-を確かめて正しく入れます)



#### 3 電池ケースを差し込む

電池ケースを“カチッ”と音がするまで差し込みます。



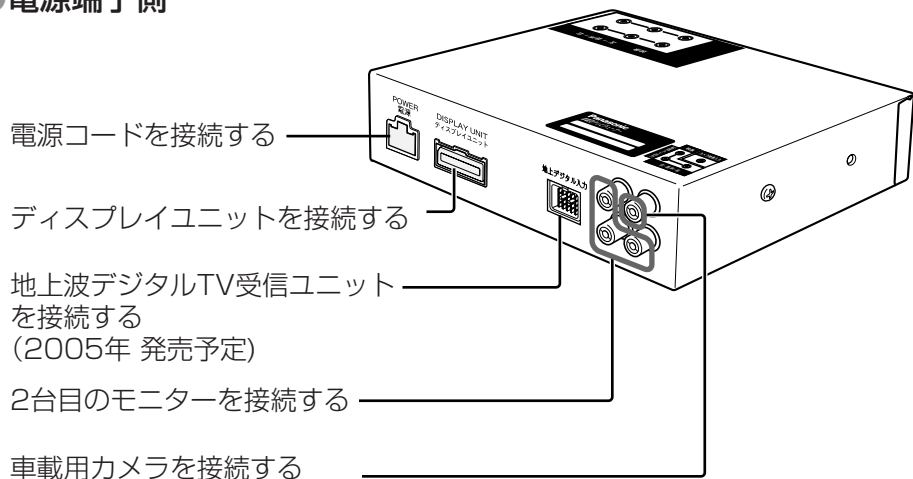
### お願い

- リモコンを紛失しないようご注意ください。
- 落としたり、衝撃を与えたり、足で踏んだりしないでください。(部品がこわれ、故障の原因となります)
- リモコンに水などをかけないでください。
- リモコンをテレビの近くで操作しても働かないときは、電池(品番: CR2025 または CR2025P) を交換してください。電池の交換期間は、通常のご使用で約 1 年です。

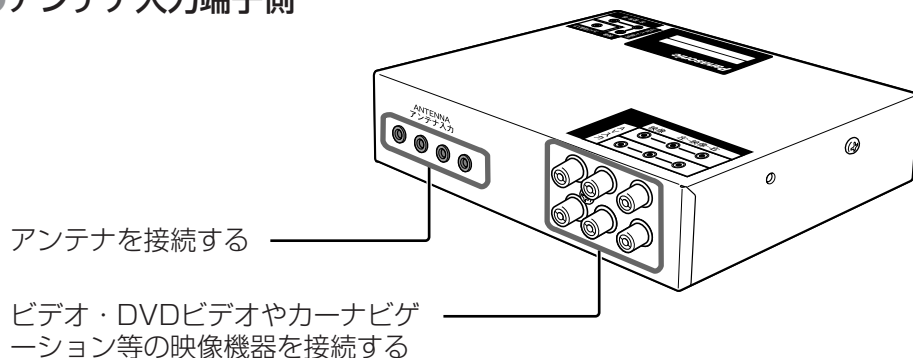
# 各部のなまえとはたらき つづき

## チューナーユニット

### ●電源端子側

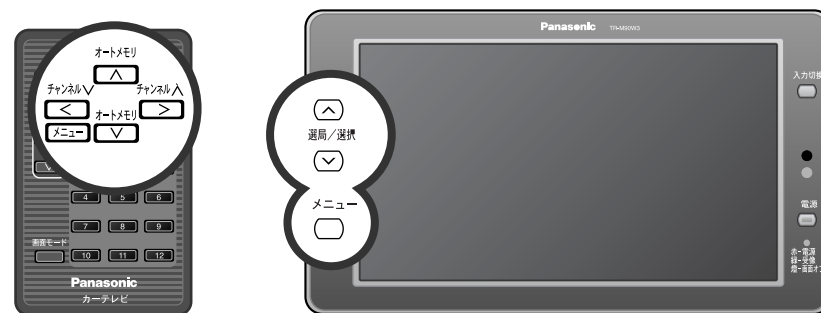


### ●アンテナ入力端子側



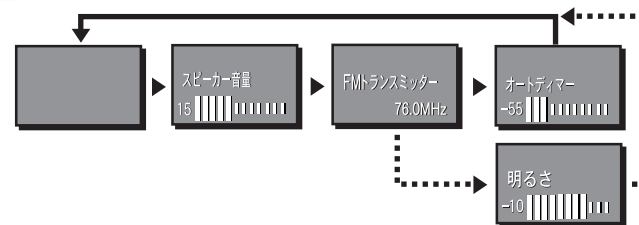
## メニュー画面

本機の種類調整や設定は、メニュー画面上で操作できます。メニュー画面は、「基本」メニュー、「システム設定」メニューと「映像音声調整」メニューがあります。



### ●基本メニュー

①本体の **メニュー** 又はリモコンの **メニュー** を押すごとに下のように表示する



②本体の **選局/選択** 又はリモコンの **オートメモリ** **オートメモリ** **チャンネルV** **チャンネル入** を押して、各メニューのレベルを調整する

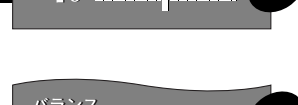
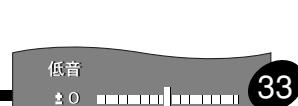
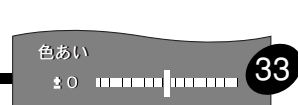
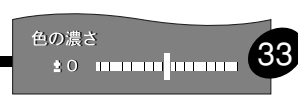
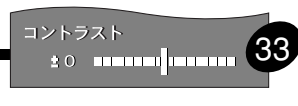
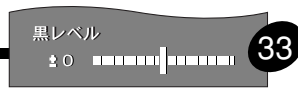
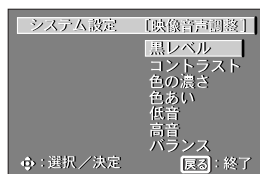
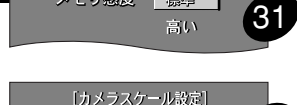
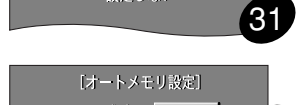
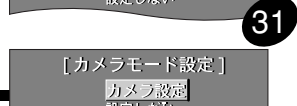
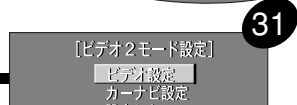
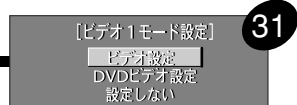
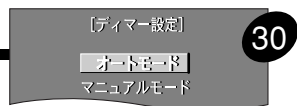
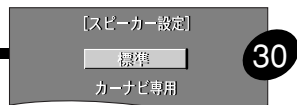
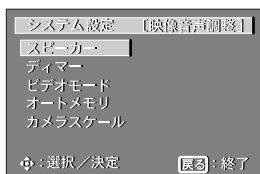
### お知らせ

- 本体とリモコンのメニューでは表示が異なります。
- 3秒間メニューを押さなければメニュー画面はキャンセルします。
- ディマー設定がマニュアルモードのときは「明るさ」にかわります。
- ヘッドホン音量調整はヘッドホンが挿入されている時に調整できます。  
(TR-T70W3は端子がありません)



# 各部のなまえとはたらき つづき

## ●システム設定メニューと映像音声調整メニュー (☞ 30~33ページ)



### お知らせ

TR-T70W3のOSDタイトル表示は「システム設定 [映像調整]」となります。